

第3次基本計画及び第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理の結果について

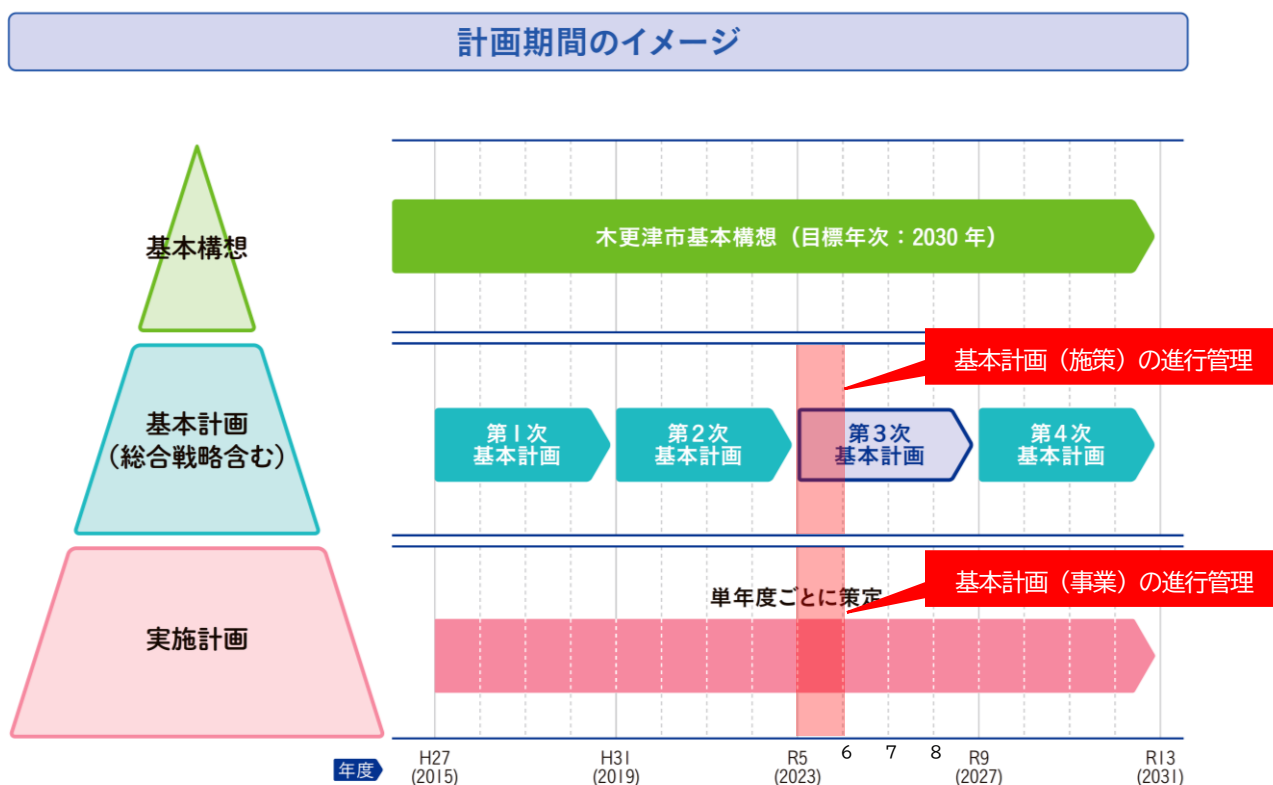
1 第3次基本計画について

木更津市総合計画は、本市のまちづくりを総合的かつ計画的に進めるための指針となるもので、基本構想、基本計画、実施計画の3階層で構成されています。

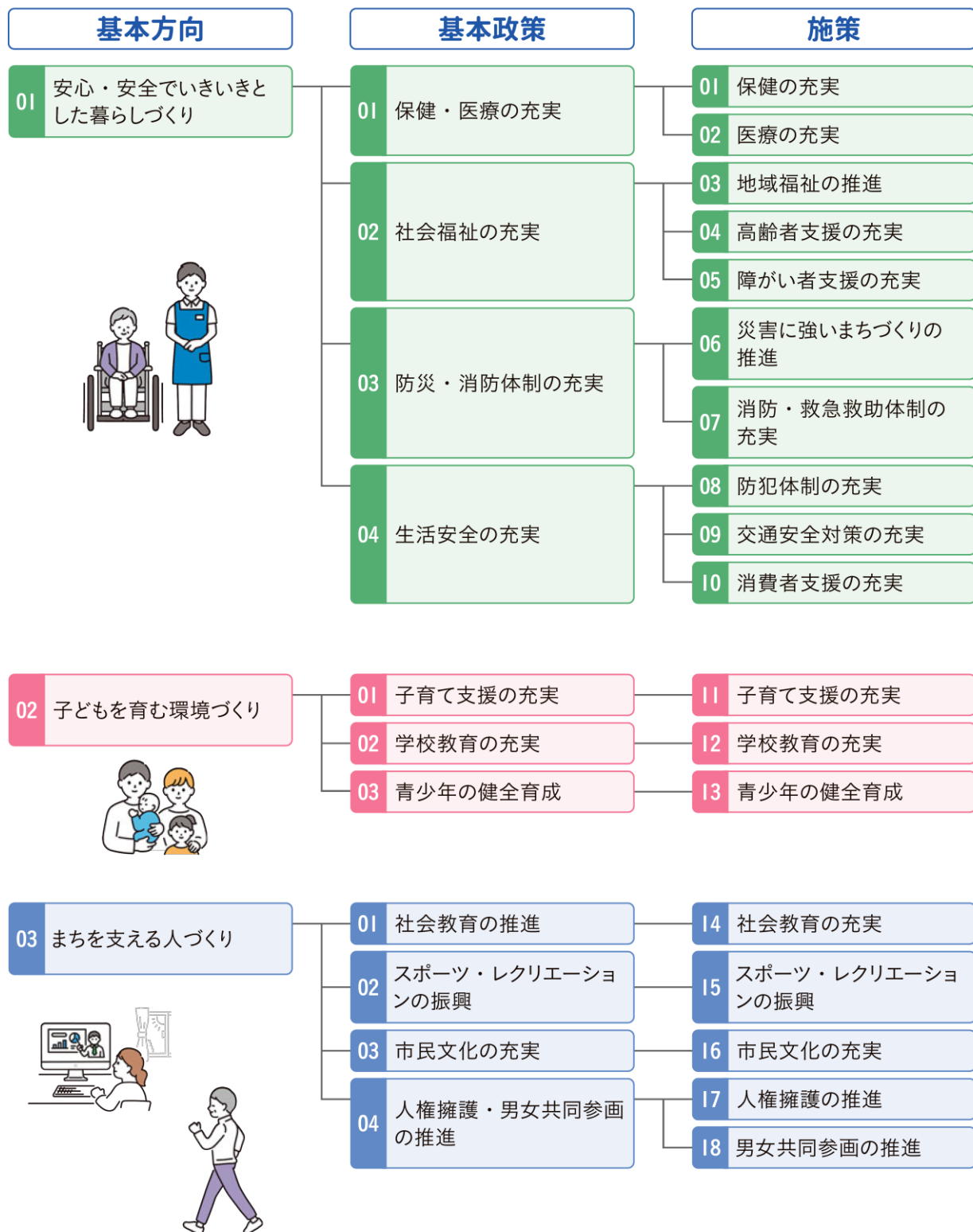
基本構想は、本市がめざすべき将来像を明らかにし、これを実現するための基本的な方向性（基本理念や施策の大綱）を示したもので、令和12年を目標年次としています。

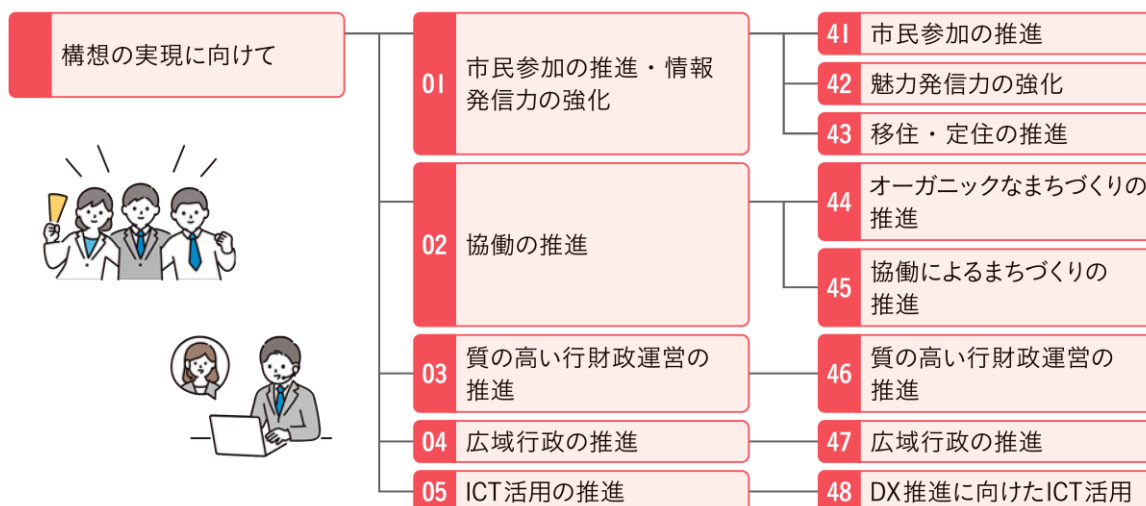
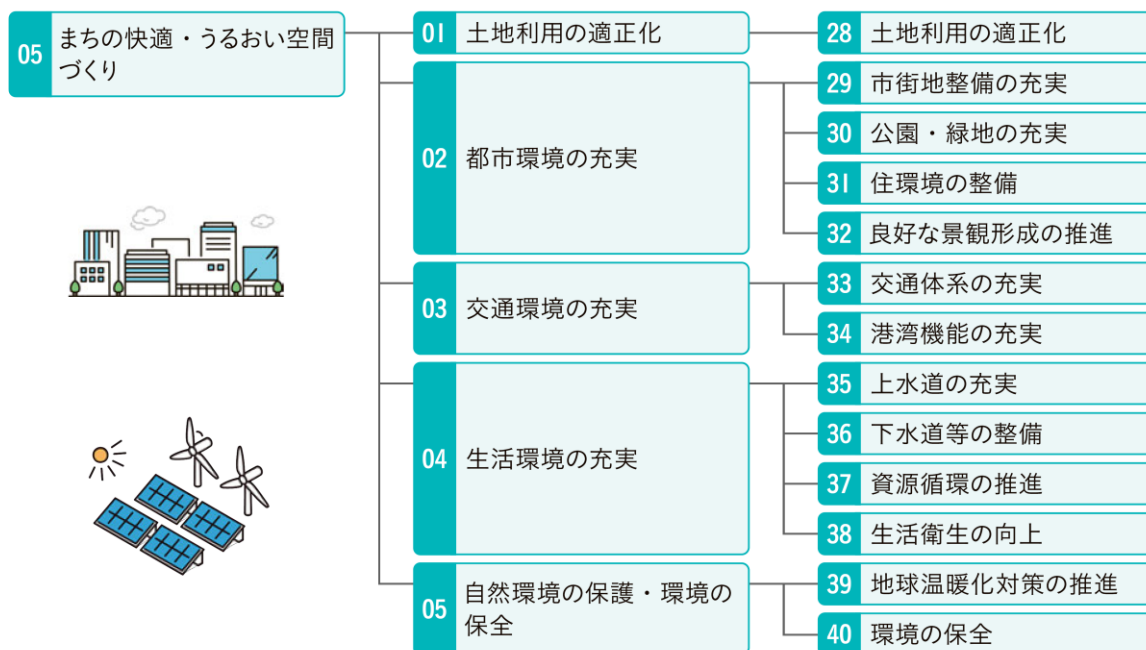
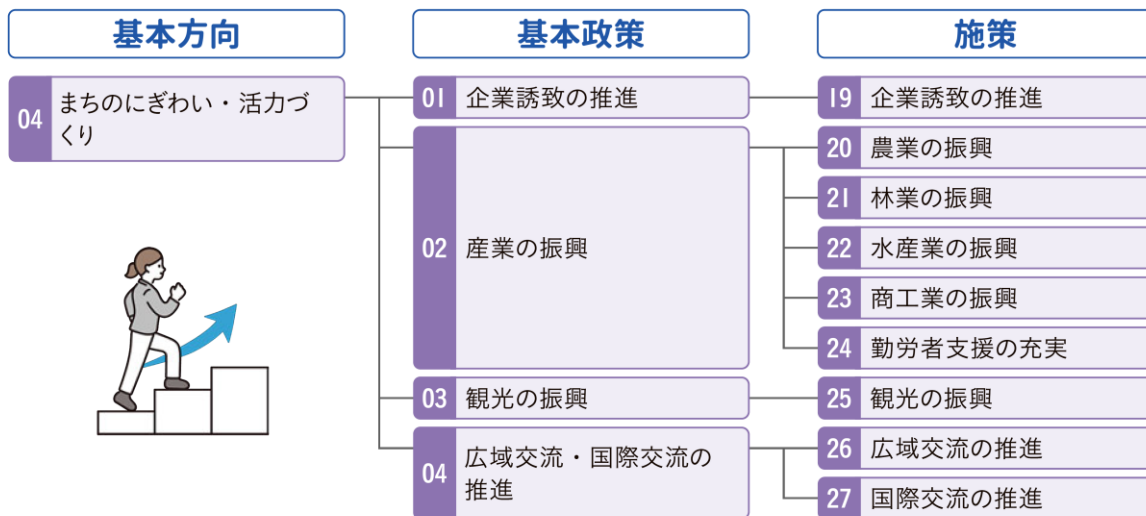
基本計画は、基本構想を実現するための基本的な考え方や施策の方向性等を基本方向別に示したもので、4年ごとに策定しています。

実施計画は、基本計画に位置付けた施策目標を達成するために進める様々な事業のうち、特に重点的に取り組む事業（重点事業）について、毎年度の予算編成と連動させた計画です。令和5年度は72事業を位置付け、各事業に取り組みました。



2 第3次基本計画 施策体系





3 第3次基本計画に位置付けた施策の進行管理

第3次基本計画（令和5年度～令和8年度）に位置付けた48の施策について、それぞれの施策の目標達成に向け、令和5年度の実施結果や課題を踏まえた今後の方針について検討する進行管理を実施したので、取りまとめ結果を報告します。

今後は、今回の結果と今年度実施する市民アンケートの調査結果等を総合的に評価し、必要に応じて計画の見直し等を検討します。

なお、施策別の詳細については、資料2「基本計画 施策の進行管理票」をご参照ください。

基本方向		施策数	達成（進捗）度		
			A	B	C
(1)	安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	10		10	
(2)	子どもを育む環境づくり	3		3	
(3)	まちを支える人づくり	5		5	
(4)	まちのにぎわい・活力づくり	9	3	5	1
(5)	まちの快適・うるおい空間づくり	13	1	11	1
(6)	構想の実現に向けて	8	1	6	1
合 計		48	5 10.4%	40 83.3%	3 6.3%

※達成（進捗）状況については、施策の進行管理票における取組（進捗）状況や成果指標などを総合評価し、3段階で表示しています。

A 目標達成または順調に進捗している

B 概ね順調であるが、より一層の取組（施策）の推進が必要（目標達成に向け一定の進捗がある）

C さらに重点的な取組（施策）の推進が必要

4 第3次基本計画の重点事業の進行管理

重点事業とは、第3次基本計画に位置付けた48の施策目標を達成するために、市が取組を進める様々な事業のうち、特に重点的に取り組む事業です。

市では、令和5年度に実施する計画とした72の重点事業について、取組状況を把握し、必要に応じて計画の見直し等について検討を行う進行管理を実施しましたので、進捗状況の取りまとめ結果を報告します。

今後は、この結果等を踏まえ、令和7年度当初予算編成の参考資料として役立ててまいります。

なお、事業別の詳細については、資料3「基本計画 事業の進行管理票」をご参照ください。

（単位：千円）

基本方向		事業	進捗度			前年度 繰越額	当初 予算額	決算 見込額
			○	△	×			
(1)	安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	15	6	9		564,072	1,026,614	597,520
(2)	子どもを育む環境づくり	13	13				559,583	430,263
(3)	まちを支える人づくり	3	3			167,656	171,373	313,346
(4)	まちのにぎわい・活力づくり	12	12			23,000	404,643	407,580
(5)	まちの快適・うるおい空間づくり	24	10	11	3	545,238	1,873,923	1,453,145
(6)	構想の実現に向けて	5	5				277,798	242,754
合 計		72	49 68.0%	20 27.8%	3 4.2%	1,299,966	4,313,934	3,444,578

※進捗状況については、当該年度の実施計画に対し、事業の取組状況を3段階で表示しています。

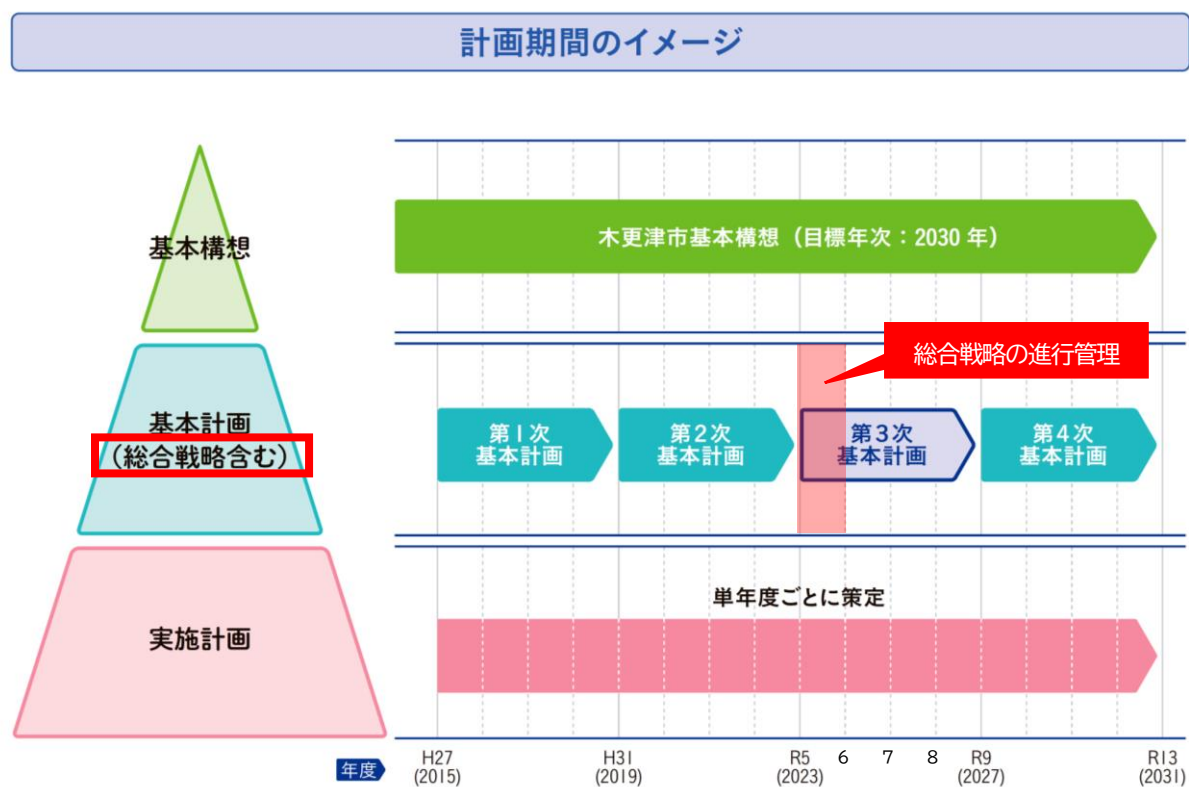
○ 計画どおり実施・・・令和5年度実施計画書のとおり実施できた事業

△ 計画どおりには実施できなかった・・・事業の見直しや繰越等により、実施計画どおりには実施できなかった事業

× 事業の中止・休止・・・事業の見直し等により、中止もしくは休止した事業

5 第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略について

「第3期総合戦略」は、「第3次基本計画」に位置付ける各施策の中から、地方創生の推進に向けた戦略的な取組を分野横断的に抽出し、基本計画と一体的に策定した計画です。



総合戦略では、4つの基本目標を設定しています。

- 基本目標1**▶▶ 地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む
- 基本目標2**▶▶ 多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる
- 基本目標3**▶▶ 自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を推進する
- 基本目標4**▶▶ 市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する

基本目標ごとに基本的方向を定め、基本的方向ごとに基本計画の関連施策と主な取組を位置付けています（関係性は6・7ページを参照）。

なお、進捗状況を確認するための指標として、各基本目標においては「第2期総合戦略」からの継続性を踏まえた数値目標を設定し、基本的方向においては「第3次基本計画」との関連性が高い施策の指標を用いて重要業績評価指標（KPI）を設定しています。

6 第3期総合戦略と第3次基本計画との関係

基本目標	基本的方向														
		01 保健の充実	02 医療の充実	03 地域福祉の推進	04 高齢者支援の充実	05 障がい者支援の充実	06 災害に強いまちづくりの推進	07 消防・救急救助体制の充実	08 防犯体制の充実	09 交通安全対策の充実	10 消費者支援の充実	11 子育て支援の充実	12 学校教育の充実	13 青少年の健全育成	14 社会教育の充実
1 地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む	(1) 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援	●										●			
	(2) 働きながら産み育てやすい環境づくり														
	(3) 「木更津っ子」を育む教育の充実												●	●	
2 多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる	(1) 農林水産業の成長産業化への支援														
	(2) 産業・創業及び地域産業の持続的成長に対する支援														
	(3) 企業誘致の推進														
	(4) 観光産業の競争力強化														
	(5) 安定した雇用の確保														
3 自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を推進する	(1) 多様なライフスタイルがかなう定住の推進														
	(2) 快適で暮らしやすいコンパクトなまちの形成														
	(3) 木更津の様々な魅力の情報発信の強化														
	(4) アクアライン等を活かした交流人口の創出														
	(5) 多様な地域資源を活かした関係人口の創出														
4 市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する	(1) 市民力・地域力による自立した地域づくり														
	(2) 生物多様性を育む自然との共生														
	(3) 生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる地域づくり	●			●										●
	(4) ふるさと木更津づくり														
	(5) 安心で暮らしやすい防災都市づくり					●									
	(6) 多様な主体との連携推進														
	(7) DX推進による住みよいまちづくり														

木更津市第3次基本計画の48施策

項目番号	項目名	達成率
15	スポーツ・レクリエーションの振興	10%
16	市民文化の充実	5%
17	人権擁護の推進	0%
18	男女共同参画の推進	0%
19	企業誘致の推進	15%
20	農業の振興	20%
21	林業の振興	10%
22	水産業の振興	25%
23	商工業の振興	30%
24	勤労者支援の充実	28%
25	観光の振興	35%
26	広域交流の推進	32%
27	国際交流の推進	38%
28	土地利用の適正化	40%
29	市街地整備の充実	45%
30	公園・緑地の充実	42%
31	住環境の整備	48%
32	良好な景観形成の推進	45%
33	交通体系の充実	50%
34	港湾機能の充実	55%
35	上水道の充実	60%
36	下水道等の整備	58%
37	資源循環の推進	62%
38	生活衛生の向上	65%
39	地球温暖化対策の推進	68%
40	環境の保全	70%
41	市民参加の推進	75%
42	魅力発信力の強化	72%
43	移住・定住の推進	78%
44	オーガニックなまちづくりの推進	75%
45	協働によるまちづくりの推進	80%
46	質の高い行財政運営の推進	82%
47	広域行政の推進	85%
48	DX推進に向けたICT活用	88%

7 第3期総合戦略の進行管理の結果について

4つの基本目標ごとに、指標として位置付けた数値目標の令和5年度における進捗状況と検証結果について報告します。

基本目標1 地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む

指標1・「出生数」は、平成30年以降初めて900人を割る結果となりました。本市の合計特殊出生率は平成28年以降低下しているものの、国や県を上回る水準を維持しています。一方で、結婚・出産・子育てにおける価値観の変化や経済的負担が全国的な少子化の進行に影響を与えており、本市も同様の状況に直面することが予想されます。

指標2・「幼年期（0～4歳）の人口社会増」については、子育て世帯の転入が転出を上回ったことで微増を維持していますが、計画策定時の基準値に比べ、増加数は鈍化しています。

指標3・「市内の小学校1年生の児童数」については、微減となりました。

今後、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を充実させ、子どもを安心して産み育てる環境を整えとともに、子育て世帯への積極的な情報発信を行います。また、特色ある学校づくりを行う「きさらづ特認校制度」の推進や教育内容の充実、教育環境の整備に引き続き取り組みます。

基本目標	数値目標		基準値 計画策定時	実績値 R5年度	目標値 R8年度
1	指標1	出生数	948人 (令和3年度)	891人 (R6.3.31)	1,000人
	指標2	幼年期（0歳～4歳）人口の社会増	102人 (令和3年度)	38人 (R6.3.31)	230人
	指標3	市内の小学校1年生の児童数	1,194人 (令和3年度)	1,159人 (R6.3.31)	1,194人

基本的方向・KPIは、資料4・4ページを参照

基本目標2 多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる

指標1・市内における『らづ-Biz』の支援を受けて新規創業した件数」は、増加傾向がみられました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、起業家の新しいビジネスの立ち上げに対する不安が軽減され、起業意識の高揚につながったことが要因であると考えられます。

また、指標2・「有効求人倍率」が増加となりました。内閣府の月例経済報告では、景気は緩やかに回復しており、雇用情勢に改善の動きがみられ、就業率が緩やかに上昇しているとされています。本市においても景気の回復の影響を受けて企業の求人数が増加傾向であることが要因であると考えます。

今後、引き続き「らづ-Biz」を拠点とした事業者支援を進めるとともに、雇用情勢や社会的ニーズに対応した就業支援の充実を図るなど、勤労者が働きやすい就労環境づくりを促進します。

基本目標	数値目標		基準値 計画策定時	実績値 R5年度	目標値 R8年度
2	指標1	「らづ-Biz」の支援を受けて新規創業した件数【累計】	69件 (令和4年12月末)	101件 (R6.3.31)	100件
	指標2	有効求人倍率	1.22倍 (令和3年度平均)	1.39倍 (令和4年度平均)	1.77倍

基本的方向・KPIは、資料4・11ページを参照

基本目標3 自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を促進する

指標1・「人口の社会増」について、本市の人口は転入超過が続いており、令和5年度の社会増は目標を大きく上回りました。LINE 公式アカウント「木更津市移住・定住相談窓口」の利用登録者数においても、令和4年度末から262人増加し989人となり、東京・横浜などの対岸主要都市に比べて低廉で優良な住宅地を有する本市への移住を検討する方が増加していることが推測されます。

指標2・「年間観光客入込客数」についても増加傾向であり、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、木更津港まつりをはじめとする主要なイベントが再開されたことが要因であると考えられます。

今後、良好な市街地環境の形成と市街地住宅の供給を進めるほか、空き家の活用などによる定住を促進するとともに、移住・定住希望者の相談窓口の機能強化と充実に取り組みます。また、イベント等の開催を通じ観光誘客を図りながら、魅力ある市の情報発信により交流人口や関係人口の創出・拡大に取り組みます。

基本目標	数値目標		基準値 計画策定時	実績値 R5年度	目標値 R8年度
3	指標1	人口の社会増	721人 (令和3年度)	1,278人 (R6.3.31)	1,650人
	指標2	年間観光客入込客数 (大規模集客施設を除く)	1,445千人 (令和4年)	1,557千人 (令和5年)	1,837千人

基本的方向・KPIは、資料4・18ページを参照

基本目標4 市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する

指標1・「木更津市に愛着や誇りを感じている人の割合」については、令和5年度は計画初年度であるため市民アンケートを実施しなかったことから、実績値はございません。

指標2・「災害対策コーディネーター養成講座の累計受講者数」は増加しており、要因としては近年の災害発生の頻発化により、地域住民の防災意識が向上しているためと考えられます。

指標3・「認知症サポーター養成講座の累計受講者数」についても増加しており、認知症に関する普及啓発活動を行ったことで、企業や認知症カフェ等、高齢者への支援を希望する団体からの開催要望が増加しました。

今後につきましては、災害対策コーディネーターは重要な地域の防災リーダーであることから、各種媒体を活用して更なる市民の防災意識の向上と災害に強いまちづくりを推進します。また、認知症サポーター養成講座の受講を推進するとともに、修了者にはステップアップ講座受講の勧奨を行い、支え合う地域社会の構築に取り組みます。引き続き市政に対する興味関心を高める取組を行い、健康で生き生きと暮らすことができるまちづくりを推進します。なお、令和6年度は市民アンケートを実施し、市民ニーズなどを的確に分析することで、市民に寄り添ったまちづくりに取り組んでまいります。

基本目標	数値目標		基準値 計画策定時	実績値 R5年度	目標値 R8年度
4	指標1	木更津市に愛着や 誇りを感じている人の割合	78.7% (令和3年度)	—	90%
	指標2	災害対策コーディネーター 養成講座受講者数【累計】	261人 (令和4年12月末)	290人 (R6.3.31)	375人
	指標3	認知症サポーター 養成講座受講者数【累計】	11,090人 (令和4年12月末)	12,195人 (R6.3.31)	13,500人

基本的方向・KPIは、資料4・29ページを参照